

KODAK COLOR CHART

© The Tiffen Company, 2000

LICENSED PRODUCT

Blue

Cyan

Green

Yellow

Red

Magenta

White

3/Color

Black

A 1 2 3 4 5 6

M 8

B 15

17 18 19

新製萬國輿地圖說

話聖東小傳
閣龍小傳
共和政治
補
共和政治冊
北亞墨利加洲
總說
總說

共六冊

ル 2
3287
2



門ル2
號3287
卷 2

萬國輿地圖說

北亞墨利加洲總說

昭和45年7月1日寄

不詳氏贈

高岡市立圖書館藏

此名ハ北極未審地より南部ハ宇革堂小至る
までの總稱なり域中暗得一名コルチルラレ
スの大山脈綿亘鬱律亦多くの支流と分つ
其中間小數十の平夷なる大國と開拓を後其
山脈岐して二とるり一ハ未審の冰野小趨り
一ハ暗く海峡小藏伏して遠く亞細亞洲又亘
り直ちに圖伯特國の意貌大山脈小連ると云

西洋人撰述譯本

萬國輿地圖說

雲峯閣藏梓

其中間小開く如の有名大國と尤小列擧を
墨是可一名新伊斯把泥亞此地往古の幾多の
土豪ゆりく如々に獨立割據し互小攻伐を事
と多三百年前伊斯把泥亞名譽の猛將名ハゴ
ルテス一軍と率ひて此地を取ら其疆界北ハ
新墨是可南ハ把那麻小劃る部中三大鎮あり
一曰墨是可之と一國の首府とハ人口二十萬
互市繁盛富商最多一又大政廳あり伊斯把泥
亞より置く如の小王是小住を此地産物をさハ

めて多し就中白銀と上とす故小其土の富者
常小乗る所の車輪と銀とく造る者ゆり亦一
種通用の錢幣あり銀とて鑄造を二曰キアタ
ルセイラ民口三萬人烟頗る繁盛府内寺院及
び學校あり三曰キアチマラ人烟擲比商旅雲
集と亦學校ゆり其近傍小一府ありアカヒル
コと云人口過多我寛政の末年大地震あり
て都府半ハ地中ニ陥る再後ハ廢蕪して一村
落とるのそ其把那麻小近き如と宇革堂と

云ふ嘆咭喇の城寨あり伊人已が領所と奪掠
せしむることを恐る堅固の城郭二と築きて
之を防ぐと云へり此地の人民四十六萬六千
餘其近傍海濱常小多くの龍涎香と飄蕩を土
人乏と取て西洋人小交易とる夥しく利を
得ると云ふ域中金銀壙あり其出を如最も夥
し其五分の一と本國伊斯把泥亞小納るゝと
云ふ閩州の表の獨逸の四百里に當る其廣は
未ど詳うなると民口三百萬此地の氣候瀕海

の地の濕熱ありて内地の融和惣て人畜小可
なりと云ふ土産穀類最も米と上とと其他砂糖
藍猩々虫烟草吉貝蜜拔爾撒摩木綿金銀水銀
眞珠祖母綠
新墨是可其西の共和政治州南の墨是可北の
マエヒラ小劃る此地本の墨是可國の一部と
と云ふ我弘治年間より伊斯把泥亞人其地の北
部を割て新々小一國となると故小此名稱あり
土人種類一なるべ就中西洋種多と小居る其

教法も亦數種あり其首府を「サシタ」へと云總督鎮あり亦學校を建つ制度最も廣大生徒常小數百人あり部中山岳其七八居る其中間土地膏腴ありて五穀と産する事最も多し土人の好て鼈と啖ふ故小毎月鼈を鬻ぐの定市日あり婦人の蛇皮と取て髻の飾となす土産金銀酒祖母線獸畜技木又小蛇あり其皮如々小彩紋あり極めて華麗なり

共和政治州總説

此疆域北ハ新貌利太泥亞ニ接シ南ハ墨是可ニ至リ其東西ハ大洋不臨ヒ域中本ハ八國ナリト小次で十三州とるる近世又倍々加りて三十餘州ニ至る然れども國主首長あり非ど毎國其賢者數人を推て政官とるるを土人數種ありて各地其俗と同一ムセズト雖ども亦彼是貴賤の別と設くる事あり其地の南部ハ稼穡と業あり北部ハ諸種の器什を造り亦或ハ四方ニ貿易とる者あり其至る地ハ歐邏巴諸州東西印度諸島及

び支那國其最くりと云ハ關州人口一千四百二十
四萬〇此數 我天保六年西洋人記載すル如ク〇
軍人八十萬戰艦大小八十一其制度刑政及ハ國
の大事ハ各國共和シテ其時宜ニ從ム其風俗各
地ハ解レズルと雖モ要スル小粗西洋諸州
小鬚鬚ニ惟天度ハ歐邏巴諸州ハ同トと雖モ
も其土地山川の形勢ニ因リテ氣候之ニ比シレ
バ較寒冽ナリ此域本ト亞墨利加洲中ノ一部ト
雖モ其地洪大ナリて人民過多其勢モ亦最モ

旺盛ナルと以テ今或ハ單ニ此地ト通稱シテ北
亞墨利加洲ト云ハ按ズルニ此域其初メハ茫々ト
る廣野ノとシテ是名稱アルとありシ我萬
治六年ノ頃ニ當テ啖咭喇國人始メ此地ノ南
邊カロリナリ國人種ト移シ尋ビ又享保十九年
此部中子ウヨル及ビコシ子クチキツトの地
小數百ノ人種ト移シと云ハ然レどモ當時ハ高
寂寞ス寒鄉ナリて一モ記載スべシ者ナ後
數年啖咭喇國ノ人民間々其固有定法ノ教化ス

從しんじやうのごる者ものあり是こゝに於おて其種しゆの人民じん數萬じゆばんと捕とら
へて遠とほく此地こゝに遷うつて其人民じん等ら當時たうじ飲食おんじき衣服いふくの
用もちに缺くわくと雖なども又また竊ひそかに此地こゝに國くに主しゆ首しゆ長ちやうと
と喜よろこぶ其衆しゆ人じんと謀まり大おほく山川さんげんと疏そ鑿さくし土地ちとと
開ひら墾けんして農のう耘りん稼か播はと業ぎやうと又また旁たはら漁ぎよ獵りやうと事ことと
と後のち若干いくばく年ねんありて其子孫こんそん蕃ふ衍えんし三十さんじゆ有あ萬まん不及ふ
び物産ぶつさん又また極きよくめて駸かひと遂ついに嘆なげ人じん此地こゝに來きりて
交易かうぎと為なると不ふ至しる 我われ寶曆ほうりき中ちゆう嘆なげ國くにに數年すうねんの戰せん
争しやうありて其人民じん大おほく周しゆう喪さうし四方しやうほうの貿易かうぎ缺くわく如ごと
少すくなりと是こゝに於おて嘆なげ人じん此地こゝの人民じんを雇やて自みづか己か

の用もちに充あんとと邦人ほんじん其言そのことばの猖しやう狂きやうなりと俸ほう錢せんの
薄うすいとと惡にくみて其命令そのめいれいに服ふく從じゆうせど却かへて嘆なげ人じんの
印度いんどう諸邦しよほうより輸送しゆそうする所の茶葉ちやえつ三百さんひやく四し十二じふに箱はこ
と取とりて水中すいぢゆうに投なげど是こゝに於おて嘆なげ人じん憤いん懣げんふ堪たへど
兵艦へいけん數艘すうざうと發はつして此地こゝの第一だいいち馬頭ばとうと圍かこひ先まづ
其糧道りやうだうと絶たつ土人どじん亦また頗おほく窮きゆうし其兵そのへい和わ十三じふさん州しゆうの
政官せい官と會あひて事ことの成敗せいばいと議ぎを忽たちち軍官ぐん官名なの「ワ
スヒシクト」文官ぶん官名なの「フランクリン」席せきと進すすんで

賜言して曰天時の失ふべうらど宜しく長く嘆
人と交と絶つべし衆其議ふ一決と英人も亦事
の成べくらざりと已れが言の理をうらどふとを
知て圍を解さ去る尋で 我安永九年此地の政
官某ちる者嘆咭喇國人と會して長く不羈獨立
の國をることと約を再來國勢倍々加りり其近
隣徒黨と聚會して此盟社小來會ちる者勝て算
みらるらど近二十年に至りては各國學校と設
け日々に經濟の學と講を就中子ウヨロク「マス

サクセツツ國の如さの巧麗の觀象臺羅甸學及
數萬種の本草園と設けく生徒小教諭と云其
南部ハ氣候不和みして土人往々黃熱病不係り
て死する者ありと云部中ケン左ケ國ハ一奇事
あり嘗て硝石坑と堀し小中ハ石人數員の存在
とらと見ると云○按とらハ外記所謂那多里の
石人の類○土産五穀苧麻烟草苗根吐根砂糖
藍綿吉貝菓物蜜蠟鐵鉛銅些小金銀上好牛馬皮
革海狸鼈諸種上好器什等

「ロウイシアナ」本伊斯把泥亜ニ属ス後佛蘭西ニ
併セラズ 我文化元年佛人千五百萬金のた
め小此地と割て長く共和政治州ニ鬻ぎ與ふ
其疆界北ハ未審の曠野ニ至リ南西ハ兩墨是
可小接と部中大河あり「ミツシスシツ」と云
駁々々鱗介の族と産と其首府と「アルレア」
ニスと云人口三萬九千二百餘 我文化中此
州と分て三大部とありて每部人口三萬二千餘
中ニ十二酋長ありて其訴訟と聽く土地ハ膏
腴みりて上好の五穀と産すること北亞墨利
加地方之ニ比較とぐと者々々産物金銀酒材
木蠶其種類數品あり皆啖ふべし
花地往古ハ東西ニ部ニ分つ其首府と「アウギ
チ」と云人口二千餘昔時ハ此地の人盜賊あ
る事と知らざ故小他邦の人此地ニ來り住と
る者他の物貨と竊と公然とて慚心なりり
しと云ふ今ハ漸々西洋人種藩衍して其風俗
ありこととる其東部ハ山岳曠原或ハ大沙漠

のこみして五穀を産する事と至て寡一西部
 へ之と同ううど百年前嘆咭喇人此地の西部
 と奪掠して其地を併有その後三十年あいて伊
 斯把泥亜小復と云 我文政三年の會盟よ
 り此地のバルチト川迤西と割て長く共和政
 治州小附屬とすしひふことと約を産物米穀
 酒吉貝木綿美麗蛇

其共和政治州と稱する者三十一國

- 一「マス」スキユセツツ
- 二「マイ」子
- 三「ブル」モシト
- 四
- 五「コ」シ子クチ名ツト
- 六「ロ」デスエイラシド
- 七「ニ」イウエルセイ
- 八
- 九「ペ」シセルヌニ
- 十「ケ」シ
- 十一「イ」シチアナ
- 十二「マ」レイラシ
- 十三「ヒ」ルギニイ
- 十四「ラ」イラ
- 十五「テ」シ
- 十六「ハ」ールドカロリナ
- 十七「グ」イドカロリナ
- 十八「ゲ」ラルギイ
- 十九「デ」
- 二十「ミ」スシスシツピ
- 二十一「ラ」ル
- 二十二「イ」ルリノイス
- 二十三「ロ」イ

シアナ 二十四「ミシガウ」 二十五「バールドウ」
ストゲビイド 二十六「コリスピア」 二十七「ブ
ロリダ」 二十八「アルラバマ」 二十九「アルカ
サス」 三十「ラ子ガ」 三十一「スワウリ」

新思可齊ヤ啖エ咭ゲ喇レ小隸レを其疆界北ハブレト
ン島小界西ハ新ブロニス小至リテ大地小
接續セツを今分テ七国と其府とハルリハキス
と云人口八千零五十其海岸大港あり常小軍
艦ゴと維フで非常小備ソふ此地海潮ウの干満最も大

ありて其甚しきハ高さ四十尺小躋のると云其
内部ハ土地頗る高隆ありて多くの諸穀物と
産を大氣ハ總トて寒冷レありて朝夕トハ毎小大霧
あり夏月ハ炎熱啖咭喇本國小勝ると云土人
の種族同シじりり然まども多くハ西洋人種
なりとて故ト能く其近傍諸国及び西印度の
諸島小通版トを亦間々農耘漁獵と事とする者
もゆり國州廣袤里方千八百五十三民口八萬
有餘土産米豆麥苧麻蓐ハ皮革材木魚類獸畜

加拿太一名ゲベツクケベック往古ハ伊斯把泥亜イヌイット又また隸レ三百年前佛蘭西人フランドル英咭喇国インディアナと謀り遂ついに大たい舉いて此地を奪掠うばを我寶曆五年1795英人佛國との争戦いくさあること衆しゅうして竊ひそ一裨將へいしやうを遣つかて此地を併有ひんゆう後七年1802あつて和議わぎあり然れ共地ハ長く英國の領りやうとることり佛人深く之を恨にくと分近五十年前英人土地の形勢小據さだて上下二部不分ち中な三大府と拓ひらく其上部ハ氣候酷寒こくかんありて亦大湖山岳深林あり故ゆゑ人口富ふ

庶しよ々々ハ僅わずか六萬二千許小過すこぶことハ其下部ハ土地頗さる膏沃こうわくありて往々穀こくと産とる所あり人口十二萬此地小總督鎮ありコルクと云其首府とケベツクと云人口四萬又巨港きよこうあり大船と浮うびへ其共和政治州きわんせいせいしゅう界する所小大河あり名なて老楞佐らうらうさと云源みなもとと南方の二大湖より發はしり或あるハ大瀑布おほいすいぶと名なりて天半てんぱんより漲たかり落おち或あるハ富石の間と伏流ふくりゅう一いっ蜿蜒屈曲えんえんくつこくすることと六百里是こゝ不至りて海うみ注つぐ其海口濶ひろと三十

里底の深淺ハ知ラヘク此地の北部小野
人の郷ありインチア、子種と云不羈あり
て部落と為さば便小隨て徙遷を闔州廣袤里
方三萬五千土産海狸大口魚皮革

新貌利太泥亞一名ラブラドル譯して農地小
作らゆて此地の人民形體矮小其手足ハ十二
三歳の小兒の〜其顔面ハ白皙ありて容
貌賤陋才智至て短〜嘗て物と算すあり二十
顆餘ハ至まハ先づ其前數と忘る〜云亦貴賤

の別法度の制る〜惟強壯勇猛あり〜多く婦
女と畜あり者と以て上とを其刑罪ハ衆人の
甚ど賤辱すふと以て極刑とを其貧困小
〜て常小漁獵と生とるも君不幸ありて料小
闕〜飢渴堪ゆべり〜時ハ自ら已まら體
と刺し鮮血と出〜て是と吸ふ又春月日輝雪
を照射〜り〜小至まハ小木片小細孔と穿
ら之と眼鏡小當て其眼疾と防ぐ〜云其言語
ハ粗臥兒狼徳小同〜想ふ小同種族なり〜西

洋人此等の人種と惣稱して「エスキマウキス」と云部中東方殊審の地小大山あり巖石峩々として高く天小聳ゆ其氣候ハ嚴寒ありて風景甚ど寂寥殆んど無人の郷の如し然まども其海岸の地小ハ啖咭喇国の大商館ありて此地の産物と聚む就中ラブラトル石と第一とを其質灰黒ありて透明太陽の光線小觸まバ諸種の色彩小変ど亦好皮革と出と
臥兒狼德此域半ハ未審の冰野小至り半ハ冰海

小斗出と部中南より北より互りて大冰山あり人跡至るべううど亦五穀と産せど惟纔小草卉及び白熊と生とるのそ氣候ハ總て酷寒なり冬月に至まバ太陽の光線稀薄ありて日中といへども常小薄暮の如し今と距ること八百年前弟那瑪再加の人始めて此地と檢出と爾來其地の海濱北緯六十四度ハアルス河口の如小人種と移とこと數回未ど意の如く小蕃衍せど其本土の人種ハ新貌利太泥亜人と同族ありて天資蠢愚身

椽タケ短ミカク小コみくして黒眼ククロク褐面カク然まども其頭カビ顛テンハ極め
て大オホひなり常トコふ弓矢ユミヤ及び鉈ノコ槍サと携ヒへ其遠トウ近チカふ
至マて漁獵イサカとなす其婦人メノコハ常トコに身ミふ皮裘クニと纏ヒふ
故ユふ其容貌ヨウバウ殆オシど男子オトコの如ニし又夏日ナツノヒふ至マまば板
屋イタふ住スし水草スイソウと追ツて徙轉シテンと冬フユハ石造イシゾウの矮屋カニヤふ
住スと其高タカと六尺ロクシヤク長ナガと十二尺ジュニシヤク幅フシ此コノふ適タシふ器キ什シハ
至マて寡少コウセウなり惟タカ其身傍ミナトふ一種イツシュの机卓キヤクと置オキと或
ハ其上ウヘふ卧ヨし或シハ食器シヤクキふ用ヨウゆ其屋イタハ窓戸マドと開
うど故ユふ屋内イタノウチ總トウて暗夜アンヤの如ニし男女オトメノコハ常トコふ其中

ふみりて團坐ダンザし魚油イサアブと燃ユして寒氣サムイと防マま又旁ナト
ら光明アキラカを取トルる是コトを以モて家内イタノウチの臭氣ニホ堪タゆへくくして
と云イハ此地ココ一歲イツサイ中ノチふ冬夏フユナツの二時ニトキ候ウケ有アルるのニ其冬
月ツキふ至マり北風キタカゼ吹フくとまハ氣候キョウカイ殊ヘタふ寒烈サムイなりて
驗ケン温器ウンキを閱ケンするふ凍點トウテン下シタ四十八度シヤチハチドの寒サムイふ至マる
ことあり然シカまども西風セイカゼの吹フくとまハ大オホふ濕潤シツジュン
ありて暖アツクなりと云イハふ近世キンセイ和蘭ワラン弟那瑪爾テイナマール加等カトウの
人ヒト此地方ココノチふ來キりて駭オドロクし鯨魚クジラと取トルる邦人ホウジン亦モ産
まらる所トコロの熊クマ鯨クジラ海狗ウシロ海牛ウシ馴鹿シロウ海狸ウシ狐キツネ犬イヌ及び諸種シヨシュ

鳥類或ハコブラトル石等と以て西洋諸邦又産
る所の諸種穀物茶骨喜麥酒菜菓及び木綿吉
貝鐵等小交易を凡そ此地小あり所の西洋人種
二萬口近世啖咭喇人此地の内部冰海中小船と
進むることとを議を但其事の容易なりと以
て未だ果さざり

「インチア、子」此稱ハ北亞墨利加小住する
人種十四の總名ありて其風俗人物各異一
らど其最北地亞墨利加魯西亞小住する種と

「シヤウ子」云身材短小ありて欺詐妄言と
慚とせど其人常小村落と為さば便小從て流
徙を其風俗相互小貨物と竊盜と又漁獵と生
とを其其ミスミス河近傍小「イロセイ種
あり他種最も之と重んず其人強壯其近隣と
服從を今共和政治州小入る又「シヲウキス種
あり花地近傍小住を天資狼戾ありて且懶惰
仁義礼讓何物とると知らざりんと死んど獸畜小殊
なる事なり」と云へり

亞墨利加洲一名西印度有名島嶼左小列舉之

新ホウシラントラノヲハ又拔革老地小作
る分て四府ととべルレイスレ海峡と以て新
貌利太泥亞小劃る此州本と嘆國小隸と後佛
蘭西人此地小來り漁獵と為し遂に惣に己を
が所領とるを是よりして國乱治らむ近世佛
蘭西の偽帝那撲礼翁の世小至りて此地と割
て長く嘆國領とるを事と定む其首府としレ
トアと云其港口巨大なりて五百の商船と

浮むべし又駭し魚と産を土人漁して食ふ
充つ氣候常小寒と雖ども夏月二十日間濕熱
燬くが如しと云闔州形三稜とを其里方一
千六百民口九萬餘其近傍五箇の島嶼あり土
人常に皮裘と著腰小鳥銃と帶ふ然れども身
材矮小なり天資極めく愚直なり人口七萬二
千皆嘆國小隸と此近海駭し大口魚と産を
其租稅每歲三十萬ポントステルリングの按
ぞろふ一ポントステルリングを本邦銀四

十友小當ると云ふ

古巴分て六州とを伊斯把泥亜小隸と土地肥

沃と虽ども巖石多し其東部ハ一連の青山斷

續連綿して西小趨る氣候ハ常小苦熱終歳冬

と知らる惟時々恐るべし海嘯あり其首府を

ハ、ナと云商口二萬五千其府内小此近傍伊

斯把泥亞所領の總督鎮あり又港魯あり「ラホ

レタ」と云互市極めて繁昌然まとも此近傍數

多の小嶼星散とらと以て暗礁砂洲の害ゆる

うらぐ故小西洋商船と寄とくうらぐ此地本

と嘆喏喇國小屬せしとさハ二箇の堅固なり

城寨ありて非常と捍衛とと云闔州人口六十

二萬産物最上砂糖沙金銀銅鐵烟草吉貝藍骨

喜加々阿和蘭船毎歳此地小來りて交易とる

を者毎小二十七艘ありと云ふ

牙賣加本と牙卧と名く伊斯把泥亜小隸を此

地往昔閣龍氏第二航海のとき始めて索搜せ

！と以て伊斯把泥亞國王閣龍の子小命とて

此土小總督オウチノサマより一む然まども土人其命令不
服屬オウチノサマを争オウチノサマ乱オウチノサマ續オウチノサマま起オウチノサマる二百年前オウチノサマ喫咭喇人オウチノサマ大
舉オウチノサマして此地を取り其國を方今オウチノサマの名不オウチノサマ改オウチノサマむ其
後二十年オウチノサマ喫國の王族オウチノサマ罪ありて此地より流徒オウチノサマで
らまオウチノサマよりより民口日々に繁オウチノサマ行オウチノサマを部中オウチノサマ噴火山オウチノサマあ
り百五十年前オウチノサマ大地震あり震オウチノサマ搖オウチノサマらること數日
遂オウチノサマ又其全島の形と變オウチノサマど人民是が為め不オウチノサマ死オウチノサマを
る者一萬三千人土地肥沃オウチノサマありて石灰の氣と
含オウチノサマむ又夥オウチノサマしく砂糖と産を喫人常不オウチノサマ砂糖と他

邦不交易オウチノサマする者其八九を此土の産不オウチノサマ係オウチノサマると
云ふ又齊オウチノサマ狼島より移オウチノサマしく桂林オウチノサマあり關州人
口白オウチノサマ哲人種三萬人土人三十九萬其首府をオウチノサマキ
ンクストオウチノサマと云ふ又大港オウチノサマ數所あり邦語ハ總て
喫國オウチノサマ不似オウチノサマく此地不オウチノサマ在オウチノサマる喫國の密商オウチノサマ常不オウチノサマ近オウチノサマ
傍オウチノサマ伊斯把泥亞諸領より夥オウチノサマしく諸種オウチノサマの物件と
貿易オウチノサマを然まども此地より竊オウチノサマ不オウチノサマ他邦不オウチノサマ輸オウチノサマをり
者亦伊斯把泥亞諸領より取る所不オウチノサマ減オウチノサマビど土
産最上オウチノサマ烟草吉貝

獨眠悟古名、ハイチ中世小伊斯把泥亞と云土地
肥沃又夥しく金銀銅鐵と出と部中港脚數所あり
皆商舶と泊るべく、惟其大河ハ毎小暗礁多し
て舟楫と容るゝ便を、今と距ること三百五
十二年前西人閣龍氏始めて此地の一部小航已
しより其固有の國名を改めて遂に小伊斯把泥
亜と、又其地ニ新小都城と築き之を聖獨眠悟
府と名づく後世其地甚ど繁盛を、を以て遂に
混して一國の總名とるを後數年佛蘭西總督某

たり者軍艦數艘と率ひ來りて此地の北部と奪
掠し其三分の一と併有し又新とて府城と其地
を築く之を佛蘭西岬と名づく其地甚ど廣大な
らざと雖ども其物産の利舟楫の便なることと亞
墨利加地方にあり佛蘭西所領中此土小比をもへ
る者あり我寛政四年佛蘭西十六世ロデウキ
王の時其下官此地にあり者恣に伊斯把泥亞所
領と侵蝕し又其法度規制と革じ是を於て伊斯
把泥亞の臣此地に在る者トウサイレト慷慨悲

嘆不堪へぞ竊小土人と募りて義兵と擧ぐ然と
ども遂小其素志と逞すこと能いぞ 我寛政
八年の頃歐邏巴州中大小戦争あり佛蘭西偽帝
勃那拔爾的強兵數萬と率ひて其近隣諸州と并
有ま伊斯把泥亞國亦其禍小係る國王深く之と
患へ〜遂小此地の領所過半と割て佛國小賂
と是小於てトウサイとトも亦佛蘭西國の下官
となる佛國偽帝其志と〜封じて此地の大
總兵官となるを越て二年トウサイとト自立して

王と稱も幾も無いて亦佛國小降り己ありて亦
反も偽帝其反覆常を〜と惡と海軍總督ケ
ルルクテ小命して騎率一萬五千と率ひて遠く
此地と征伐してトウサイとト大小驚怖し親
ら黑人六萬と督して軍と其海岸數所小屯を其
勢威赫々敢て犯るべく〜は是小於て佛人暗夜
竊小四処より上陸し大に戦て之小克ち遂小進
て其都城と陷れ先づ火を其火藥庫小放つ其火
標直り小府城小漫延し人家數百皆灰燼となる

是は放て土人狼狽して僅に難と山林深澤の中
に避く佛將大に悦び自ら以為らく數日の中必
に此地を平均とすべしと然まども是よりして其
土人或は風雨不來して其陣を窺ひ或は暗夜巧
に炮矢を發つ佛人其地理を不明なりと以て之
を征伐すること能りど加之霖雨連旬より亘り又
常に慣ざる炎熱に逢て黄熱病に係る者救擧を
べしと然まども佛將之を奈何ともする事あり
し是は放て遂に土人の和議を許す惟トウサイ

ニトハ此争乱の根本とすを以て其親族及び其
部下數人と共に之を本国佛蘭西に送り遠くエ
ルハ島に流竄を此地の住人此舉を聞て大に愕
と皆其禍の吾身不及ん事と恐る土豪名ハキ
リストホと推して上將となし大擧して佛人と伐
つ佛將之を支ふることに能りど數日と經て其部
下の士往々土豪志と通する者あり後ハ佛
國殘兵纔に一千零々六人に至ると云ふ是より
して佛將憤悶不堪へど遂に病を發して軍中に

死と邦人此言と聞き兵卒數百と率ひ來りて之
と伐つ佛人も亦新あら其部中の賢けんと推いて將とな
と越こて一年嘆えげれ咭喇国兵艦數隻と發はり來りて佛
國の糧道と絶たつ是こち於て佛兵之こ拒げりて
能よつど竊ひそ小其殘兵と率ひて本國小還かへらん
遂つ小悉しく嘆人小捕獲とらせり我文化元年土豪
デスサイ子スレ及びキリストホレ嘆人と約ありて長
く不ふ羈きの王国となり其国名と舊ふるまレ復たるハイ
チレと云後レデスサイ子スレ僭號けんごうして第一世帝と稱

を但ただ其法度の苛酷こくなるを以て邦人其政令小從
りあ越こて二年遂つ小土人のために弒ころせり嗣ついでで
キリストホレ立つ然れとも其内部の酋長之と奉たげ
戴かぶせざる者あり是こち於て兩軍兵と交まひつゝ四
十九日其間小鏖戰あつせんすること二十三度大おふ之り
克かつキリストホレ新あら小破やぶる良策りやうさくの此これ報はるべし
事ことなく其殘兵數千と從したがへ夜よ小乘まりて其北部佛
蘭西岬しんせいさき小遁のがる是こちより人民分わけて二とたり
國內こく鼎沸ていふ戰爭止やむとれり越こて三年嘆人軍艦

二隻と來して大小佛蘭西殘黨の此地に潛伏する者と殺戮を然るに我文化十二年の比故の佛蘭西國王其位を復し西洋諸州大に會盟あり○按ずるに此歲佛蘭西偽帝勃那拔爾的と捕へてエルハ島に放つ故に新に此會盟あり○各々其領地を舊に復せんことを約し此地の人民此言を聞き皆曰く佛蘭西真主位を復せんとす吾衆長く其屬するべしキリストホ大に怒て曰吾師を興せしより今に二十五年不羈獨立する

る人皆之を知る吾何ぞ碌々として膝を佛國に屈せんやと云て遂に衆言を從はざると云ふ其風俗國政軍器の制は皆西洋に模擬を王の親衛毎に數百人其人身材中等ありて顔面黧黑天資靈慧人の愛情多く又勇威あり我文化政十年に至るに政刑漸く虐國中其命令を服せざる者多し彼冬十月六日暗夜に衆庶黨を結び來て其王居を襲ひ遂にキリストホを捕へて其位を避し是に於て衆人其南部の總督ペテラとの

子名ハ「ボエイル」と推テ大政官トナリ閩州廣袤
啖咭喇國定法里數千八百箇里方○啖咭喇一里
ハ乃チ本邦の十六丁○人口六十五萬產物金砂
銀鐵水銀石鹽野馬驢牛鱈椰子則獨鹿榆木榦砂
糖藍吉貝煙草骨喜加々阿鹽蠟蜜此大島の一部
と「タバコ」と云今と距ること三百五十年前伊斯
把泥亞人「ロマン」ハ子」と云者此地小於て始めて
異草と得たり因て之と「タバコ」と名づく 本邦
煙草乃ち是なり○按ずる小「タバコ」ハ萬國通稱
の語なり

「カライビセ」諸島其近傍六十嶼の總稱なり
ハルクスランド譯して豕島とも火地の東海中
小碁布雜錯々々數島と總べ云中大島ニあり
一と「フレダアテ」と「ハルクランド」と云土人鯨
肉と食とも產物海雁及び大鯨海狗
火地其地巴太温の南邊小あり今と距ること三
百二十五年前西人名ハ墨瓦蘭始めて此北部と
檢出と然まども當時其内地ハ雪山冰野のそ小

して行べりしを因て誤て謂らく其内地ハ遠く
豪斯多辣里諸州ハ連續せりとは是ハ於て西人或
ハ此地と呼で墨瓦蘭泥加大洲とをを者あり其
謬説と傳ふる者殆ど一百年 我元和中和蘭人
其南邊海を船行せしより始めて其一大島嶼な
ることを知る其廣さ北より南ハ亘る四十七里
其袤八十餘里部中噴火山あり国名の因て起る
所より其地五穀と産せど氣候ハ常ハ不和あり
寒烈なり其巴太温ハ近き海峡ハ怯るべき暴風

あり其東岸ハ茂林連綿とすること數十里土人軀
幹短小面色鐵油の如し黒髮赤眼形ち極めて醜
穢又定居部落をなすと常ハ擲槍或ハ弓矢を携
へ魚を追て徙る又常ハ能く犬と豢ハ己ダ用ハ
使役を其居所と徙るハ先づ水火と携ふ其風俗
男女其四肢ハ骨片或ハ螺貝を飾り其眼の周圍
小圓ミ輪と畫く其食ハ何物と問ハど或ハ問々
糲廢しし物とも擇まぐ其衣ハ海狗の皮を以
て製造を其屋低小綆ハ一口を開く家什器物至

て寡一其小艇の製造木皮と用ゆ極めて麁寒然
ま共間々樹脂と塗る者あり其南部小住をる土
人ハ同種族と雖とも性極めて殘忍其辺傍十一
島あり或曰七島皆至て狹き海峡あり彼此互小
舟楫と通どぐ一闔州人口僅小二千八人産物鯨海
狗諸鳥

新南ゴルギー島火地の東南數百里外大洋中不
あり其氣候酷寒夏日尚内地ニ深雪と見る此地
不産をる草種二あり土人身材短小火地人種不

似たり夏日ハ穴居と出て漁獵と為と

補

○共和政治

本州の總説ハ本篇中既小記と今其首府及び

海軍總説と記して本篇の缺遺と補ふ

此共和三十一州の總府と諸聖東と云○按ずる

小話聖東ハ原と人名又リスヒコトと云此

州と不羈の共和州とをせし人なり其名と取り

て府名となす○世界名府の一なり其地形ホト

ウマク河の分支一々下流の処小ゆり海口と
距ること殆ど六里 我寛政三年の頃此州英吉
利の所屬とすは新小不羈獨立の國とを分是
時丁て闔州の首府と爲 大政廳を營むべし
地形を擇ぶよ子ウヨルク府○人口十三萬○ボ
ストル府の如し○人口八萬○以火細密の互
市場をまとも大政廳と置て征伐軍旅の大事と
議し敵と拒ぎ守禦と堅固小する形勢の地よあ
らど是よ於て新小土木の役と起して此府と造

築し此と詰聖東と名く其府の廣袤英吉利里法
うく一百箇里方積其市街ハ縦横小往還と通ど
其道路の幅一百三十尺若くハ一百六十尺其街
數縦横各々九十より一百町よ至る家造ハ西洋
の時風よ擬し其次序整正し一線の曲折
大政廳ハ阜岡の上よ建つ其他の政所工場
及び園圃の造築ハ甚ど堅實して宏麗をり但
其初て築る一兩三年の間ハ一市街も人家搆比
てを彼此小散在し互よ有無と通どるよ不便

り〜と云 我文化八年の頃ころに至て家數一千七
百人口九千二百就中白哲人種五千九百零四黒
人種二千三百零四其後ボトウマウク河の彼岸小
あかカルレストウレそのしうへん府及び其周邊の大小村落
小住えいしゆをる人負えいしゆと合あして二萬餘とちる此歳大政
官あまのより命あまのを下あまの一普あまのく諸州あまのの三十一國と云○
論告わらう一天文地理測量等の學がく小通達つうたうせし者數人
と擢用たつりやうし又大學だいがく書しよを建て生徒せいとと教導きやうどうし數箇すうこの
書肆しよせいを命あまのして奇書きしよ珍本ちんぽんと歐邏おうろ巴はより買納かひなしむ

我文化十年の春定數政官の外新小吏事しんしよ又長ながし
る者五人と擇えらんで大政官だいていを補佐ほさせしむ其大
政官だいていの共和きやうわ全州ぜんしゆの事故じこ大小一切いっけつのことと使令しれい
をありて以て其任職にんしやく甚しんど重おもし初め其大政官だいていとる
をありて人物にんぶつと擇えらむふふ先づ衆人の敬事けいじ一推おを
所の人しよありて内外政所の大議たいぎを經へて衆評しゆへい歸かへ一
をありて者しよを規きて其大政官職だいてい不在あること六年小
して復またと原もとの農のうと歸かへと故ゆゑ又職しやく小任しよをる事三年
ありて己おのまた又代かへるべし人物にんぶつと撰出せんしゆし後三年又

して宦と解く府の東邊は港脚あり大船數隻と
泊るべし三十六年前一百万零八萬八千一百零
三ドルラルス不の貨の名の價する物件と此港
より運出し歐邏巴人より交易と云 我文化十
一年彼の八月廿四日此新都英吉利人の為に擾
乱せられ市街寺院大小政廳等皆其禍を受く此
損亡と金價とより算まば二百八十萬零三千ド
ルラルスとなり後年所を経て新府の造築舊よ
復し 我天保五年の比に人家三千四百人口七

萬餘小増衍と 我文化五年記より如本州の海
軍及び戦艦の數と下は開列と
フレガット船加農砲四十四座より三十六座或
は三十二座又は二十六門より二十門小至る者
合して二十三艘の一本と 我文政十二年記そ
処フレカト船四十七隻其大なる者に加農九十
門と備ふと云ふスルにペレ船大煩十八座と備
ふる者三艘の我文政十二年記より如十七艘の
ブリツキ船大煩十八座の者二艘スコリー子ル船

煩口十二門より十四門に至る者五艘ガレイエ
し船七隻其船率船奴と合して七千五百三十二
名○我文政十二年の記載ハ船率二萬四千八
百人○其俸金一歳中に一百二十三萬六千五百
ト○金貨の名○我文政十一年ふ至てハ二層の
樓船尋常大煩七十四座と備ふべきと本州人の
九十座と備ふとをり爾來軍艦と造ること一年
ハ一年よりも多し其船材造法も亦日と追て堅
實とをり其諸船と常ふ加拿太の大湖ハ維繫

て非常ニ備ふと云

○閣龍小傳

キリストホリス閣龍ハ意太里亞部中熱督亞の
人なり今と距ること前三百八十七年四月初二
と以て其小邑「ゴゴレ」の漁父の家ニ産る蓋し
其先ハ一貴族の裔曹小出づと云ふ閣龍天資機
慧ありて大志あり幼時より好て航海の術と研
究を故ニ其近隣諸州の海灣の如きは自躬ら舟
楫と取て遊歴せざりたり時人相為ニ語して

曰く閣龍氏於航海術也前無古人後少來者と然
まども閣龍自ら之と足まりとせども常々元々
して其術と講究し夜と以て晷ふつぐ嘗て自ら
謂らく凡そ天地の大なる其限際と測るべう
と今東方諸州の地既と開墾と雖ども西方
則ら未ど其国土ゆふことと聞くは吾今自ら奮
発して西海に航し千古未開の邦域と檢出せば
其祖国に大功あること亦偉なりとや若不幸に
して國土と發見せば印度地方の東岸に至る

の船路と開るんこと必ず閣龍胸中常と是
奇策と懐くといへども其産業貧困ありて資糧
の船と裝具とをばきなり因て熱努亜の官廳に至
りて其宿志と訴ふ是時小方りて西洋諸州の國
王相互に新世界と檢出するを以て務となす故
小無頼の狡猾兒其機に投じ偽言百出諸州に遊
説して貨利と貪る者少うども是を以て政官錯
り認て閣龍も亦此等の流なりとして其言を舉
用せど閣龍乃ち兄と謀り策と杖て諸厄利亞に

至る亦行くとぞ轉じて伊斯把泥亞イスバニヤに至りて其策くわくと獻けんむ其王妃イサベルイサベルラ靈れい惠ゐありて恩おん惠ゐあり閣龍こつりゆうの篤志とくしと憐あはれむ一萬六千金と與へて資用と助け其宿志しゆくしと達たつせしじ○亞墨利加誌アメリカシ總括そうかく考かうらべし○後王妃其功と偉ゑいなりし閣龍と擢たつて亞墨利加州諸島の總兵官となす但閣龍の政刑けい空くうしとと得えざりと以て土人其命令めいれいふ服屬ふくぞくせむ争そう乱らん續つづで起おこる是ふ於て伊斯國王其部下の海軍總督かいぐんそうとくと遣やりて閣龍と拘くへしめ之と本國ほんこくふ送おく

りて其衆しゆふ謝しゃと然しかまども伊斯國王の閣龍と優ゆう待たい寵ちゆう遇ぐとらること初はつめめふ殊ことなりと後數年ありて閣龍亦嚮きやうの地方ちほうふ航かうし始めて其大地と檢出けんしゅつを是と第四回だいよんかいの航海かうかいと分わ此地このちふ留止りゅうしとらる事數年大おほい土地ちと開墾かいこんし亦頗よほどる物産ぶつさんと詳くわふと後のち老耄らうぼうと以て本國ほんこくふ還かへり餘年あまのりと終おひんとと是時このときふ方かたて王妃イサベルイサベルララ既すでに殞しんと閣龍之と聞きる哀歎あいきん悲痛ひつぱう不堪かたへど遂ついに病びやうと發はつして死しを得え年六十一是 我永正十六年○西洋紀元せいやうきげん千五百零二年○

彼五月二十日小了ると云「ホガルト」氏の筆記中
閣龍と贊して其機警の一事と舉ぐ其文又曰閣
龍蓋世の偉功と建ると以て熱督亞人之と誹謗
とる者少なりと一客閣龍と誹て曰く爾ら新
小国土と突見「一」の實小偶然の僥倖小出づ何
ぞ深く稱贊とるに足ん閣龍曰實不然り君請試
小雞子と机上小卓しめよ客曰く能せど閣龍手
又其卵と採り其尖所と搗破して卓し客曰吾
之と能せん閣龍曰然り唯世人此小注意せざり

のと若し注意せば何の難きことと之ありん吾
亜墨利加洲と始めて檢出するも亦何ぞ去と小
異ならんや

○話聖東小傳

我寛政十二年彼十二月十四日業阿再熱話聖東
率と君ハ北米利幹のヒルゲルみして○府内小
居住し士農高の三業と并せり豪族と云○上
將小任ど當時諸豪傑雲集霧蔚とつへども君
と其最くと君 我享保十九年と以てヒルギニ

ア○共和国内の一なり○部内ヲイルヲキスの
地ヲ生る又ハ此府の豪農耕種と生るハ王又ハ
英吉利の人六十年前祖國の乱と避け此地ニ來
り住と君幼アして庭訓と奉じ繼でウイルリアム
ビュルクの○地名○學校ヲ入る其地ハ「ヒルギニ
ア」の故府なり君性明敏學業大小進々最も深く
度學不通ぞ己アして府學と去り田里ヲ住し耕
種と業と暇ハ戰陣の法と講じ我寶曆二
年佛蘭西一城寨と「ライヲ」ハ○北米利幹の地名

○城く英吉利怒て之と伐つ爾來爭乱戢まらざ
「ヒルギニア」ハ來往する英吉利の鎮將君ハ命じ
て佛蘭西大將の許ハ詰て和と講ぜし事な
どと虽ども頗る敵の情偽と詳ハ英將又君と
擢て「マヨール」と爲し○巡哨の長官○「ヒルギニ
ア」の兵八百人と帥て「ライヲ」を攻む君寡兵と
以て強敵と勇戰を我寶曆五年英國の政官「ブ
ルト」ハ兵と帥て「ヒルギニア」ハ來るハ及で君其
兵ハ從ハ部將及び「ア」ハ「ダント」ハ任し○偏裨陣

中一切の事と監察と。又一隊強兵と率て「バル
テイガ」バルと為り。敵兵の貨物と掠奪する
為に立ち入り兵隊の名。力戦大少功あり。聲價大
小進む同儕皆之と敬と。我寶曆九年任と解と
權貴の一女子と娶り。田里は返り。ビュルゲルの本
業と修め。最も意と學術は潜む。
我安永五年北亞墨利加の徒戶祖國と。○按どる
小祖國の英國と云本篇此條は照準とぐ。○怨
ひ家事起る。及で君目ら資財と散と兵備と為

し躬親ら之と訓練と越て二年彼の四月十九日
「キシレグト」の地名の戦う。ビュルゲル輩
殺傷せらる。者多と小及で其五月十日「ヒラテ
ルヒア」小の國名。○會議。諸州義勇の兵團と建
つ衆皆君と推して其都統と為と是小於て國事
艱阻の際鞠躬して其政小從事と此時小方て兵
糧乏絶未と備らむ其軍員の私意自ら恣ふ。至
嚴なる約束小聽從ひ肯せむ然ととも君軍は臨
で極て精嚴此の脱漏なく機會小遇へば乃ち其

兵と發して敵と伐て之と敗り以て漸々小艱厄
と拯ひ平治と関くことと得たり但奇と出い危と
犯して萬一と僥倖とすることとならば此年春英
吉利の大將「ホラウエ君」が為小敗らる「ボストン」と
○地名○避け新小大兵と帥ひ來る是小於て諸
軍事に處して周詳機と相て敵鋒と避ること最
も法あり其後畫策とる所窳窳小中りへスミス
が兵と「テレシト」小襲ひ英吉利の一將と「プリ
シセン」切一本州兵鋒の氣焰と倍々盛小なり

英吉利人之と怖れ兵威遠く諸州小加りる又至
る我安永九年「サラトカ」部内して英國の兵と
生擒と佛蘭西本州を援くる小及でハ事勢倍々
重大となる我天明四年「ヨルクトウン」の地小
て英吉利の兵七千人と生擒とる小至りて勝敗
初て判る是皆君の偉功なり是小至て英吉利其
制とるごとくを知り和議初て起る尋で二年
「巴里斯」あく和議なり本州遂小獨立国となる是
小於て君上官の職と解く同官皆洪恩と謝し其

徳を懐ひ苦よ之と留むまども肯やぞ決然と
てヒルギニアの田園小還りて蕭間自ら娛しむ
こと一二年なり

本州初て治まりといへども制度未ど建ど人心
一ならず此を事體の尤も重大なりことたふを
以て 我寛政二年萬衆ヒラテルヒア小會議を
皆話聖東と以て上官小任せんと請ふ是小於て
己むと得ぞ復起て事と視制度と講定を○今日
に至るまど遵奉とる所の政令ハ皆經定とる所

あて尤事情小的切なり○其翌年新ふ又會議
一話聖東と會治の最上官小任ト四年を以て其
期とをを任満とる小及で又更小四年を加へん
と乞ふ君其政と執る智略ありて誠信なり州内
小ハミルトと云者あり資性明敏辭令と好く
一善く事體小通ど君舉て政と輔くブリスト
の曰く○西洋人の名○本州初て共和の國政と
建るとさ民社の罷弊殆ど極る話聖東任小ある
こと八年よく國事と幹一軍備精良家國昌盛人

人太平と歌ひ国の芳名遠く四表小達を其言
實小然り國の令聞一とび失て又興り格殊の條
約盡く頽敗して信とぐりうごふ者復立ち零落
せり交易再び繁盛し舊國と化して新域とぬ
國債の○ナチヲナーレシキルト○復と償ふべ
うらさるる似たり者も亦典當とぐり物と得各
自家富み人勒り産物夥多ありて歳入自ら多く
政法不準して私をく風俗淳正ありて皆名族の
子の如く歐邏巴の人皆其政典空とと得小驚く

此皆君其基と立ちうらうらブルリステト君と評して
曰く詰聖東事に處して周詳慎密故不其功業顯
つとびハニルトニダ政不從ひ其功鉅大なり不
如うど詰聖東の名歴史小載也不朽又無るも足
ると雖ども然と共當時尚喜で黨を植て詰聖東
が罪ありと誹謗とる者あり詰聖東深く之と感
激と我寛政十年其上官の任満る不及で洒然
として其田園不歸り賢豪の行ふ所を以て自ら
行ひ經濟の材と鞆晦し世と相遺として恬淡歲月

と竟り^{かへ}齡^{よひ}六十七歳^{しちじふしち}ありて^{しち}率^{そら}を共和の國人^{くわのくにん}皆^{みな}痛^{いた}悼^{たう}せざる者^{もの}なり他國^{たこく}の人も亦^{また}深く之^{これ}を惜^{おし}む故^{ゆゑ}に君^{きみ}の名^なを都府^{とふ}に命^{めい}じて其^{その}功業^{こうごう}と後世^{こうせい}に垂^たる君^{きみ}率^{そら}を^{しち}臨^{りん}で遺言^{いごん}して^ね拏^な諫^まと發遣^{はつせん}し大金^{たいきん}を宦^{くわん}小獻^{せうけん}して大學^{たいがく}と閣龍比亞^{かくろんびや}に建^たて○地名^{ちめい}南米^{なんまい}利幹^{りかん}の閣龍比亞^{かくろんびや}と同^{どう}ト^うリ^り○貧兒^{ひんい}杖^{じやう}を某^{かの}地^ちに造^{つく}らしむ其^{その}葬宅^{そうたく}は諾聖^{だくせい}氏の別莊^{べつじやう}モウント^ムフル^ルに在^あり土人^{どにん}未^なだ此^{こゝ}大家^{たいが}の爲^{ため}に記^き念^{ねん}の碑^い石^{いし}と建^たてむ又^{また}一^{いつ}片^{ぺん}の墓碣^{ぼかく}に其^{その}功業^{こうごう}と記^きして以^{もつ}

て冢^{つか}塋^{えい}と蓋^{かふ}つと然^{しか}れども歴史^{れきし}に不^ふ朽^くの名^なと記^きして以^{もつ}て墓碣^{ぼかく}に代^たふる豈^あ復^まと求^{もと}むる所^{ところ}ゆらんや諾聖^{だくせい}東容^{とうよう}貌^{ぼう}尊^{そん}嚴^{げん}其^{その}才^{さい}以^{もつ}て政官^{せい官}とる不^ふ足^そまり其^{その}勇^{ゆう}以^{もつ}て不^ふ羈^きのビュルゲル^{ビュルゲル}とる不^ふ足^そまり其^{その}事^{こと}に及^{およ}ぶる凝^{ぎやう}重^{じゆう}百難^{ひゃくなん}競^{きやう}起^きり勢^{せい}極^{ごく}て重^{じゆう}大^{たい}なる不^ふ至^しるといへども未^なだ嘗^あて挫^さ折^{せつ}せど其^{その}國^{くに}に忠^{ちゆう}ありあやむ百折^{ひゃくせつ}をんごも銷^{しょう}磨^ませど政^{せい}に臨^{りん}びに國體^{こくたい}と失^うはざんがを以^{もつ}て至^{いた}る一^{いつ}邦^{はう}と尊^{そん}ふし人民^{じんみん}と繁^{はん}衍^{えん}し恩^{おん}と施^せを事^{こと}一日^{いちにち}も之^{これ}と遺^いをど其^{その}見^{けん}解^{げん}毎^{まい}に根^{こん}據^こあり

り又私見と主張せど事に如して嚴正なまじごと
仁あり此を話聖東の天性然りと分誠小敬恭愛
憐をくくして大業と為し偉功と建つべし奇男
子あり

○次卷歐邏巴洲之部

出來

○亞弗利加洲之部

○亞細亞洲 ○豪斯多辣利洲

右兩部者嗣出

萬國輿地圖說 比米利幹終

